

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公開番号】特開 2020-137208 (P2020-137208A)

【公開日】令和 2 年 8 月 31 日 (2020.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2020-035

【出願番号】特願 2019-25804 (P2019-25804)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/27 (2006.01)

H 0 2 K 1/22 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/27 5 0 1 C

H 0 2 K 1/22 A

H 0 2 K 1/27 5 0 1 K

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 19 日 (2021.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

磁石挿入孔 (24) を有するロータコア (23) と、

前記磁石挿入孔に設けられ、横断面形状が長方形であり、厚み方向が前記ロータコアの径方向に沿うように配置されている永久磁石 (25) と、

前記磁石挿入孔に設けられ、前記永久磁石を前記磁石挿入孔の壁面に押しつけている弾性部材 (32) と、

を備え、

前記ロータコアは、前記磁石挿入孔に対して径方向内側に位置する内側磁性部 (26) と、前記磁石挿入孔に対して径方向外側に位置し、磁極中心から周方向に離れるに従って前記ロータコアの外接円から径方向内側に離れるように形成された突極部 (27) と、前記突極部の周方向両側から前記内側磁性部側に延出しているブリッジ部 (28) と、を有し、

前記ブリッジ部は、前記突極部から周方向へ延出する周方向ブリッジ部 (35) と、前記周方向ブリッジ部から径方向内側へ延出する径方向ブリッジ部 (36) とを有し、

前記永久磁石は、前記内側磁性部に接触するとともに前記突極部に非接触であり、

前記永久磁石に対して周方向両側には、前記永久磁石の径方向外側と前記ブリッジ部とが非接触になるように、周方向空隙部 (31) が形成され、

前記弾性部材は、前記永久磁石の両側にある 2 つの前記周方向空隙部のうち少なくとも一方に配置されるとともに前記径方向ブリッジ部よりも径方向内側に配置され、前記永久磁石を径方向に付勢することなく周方向に付勢して固定している埋込磁石型ロータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

ロータコアは、磁石挿入孔に対して径方向内側に位置する内側磁性部 (26) と、磁石

挿入孔に対して径方向外側に位置し、磁極中心から周方向に離れるに従ってロータコアの外接円から径方向内側に離れるように形成された突極部（２７）と、突極部の周方向両側から内側磁性部側に延出しているブリッジ部（２８）と、を有している。ブリッジ部は、突極部から周方向へ延出する周方向ブリッジ部（３５）と、周方向ブリッジ部から径方向内側へ延出する径方向ブリッジ部（３６）とを有している。永久磁石は、内側磁性部に接触するとともに突極部に非接触である。永久磁石に対して周方向両側には、永久磁石の径方向外側とブリッジ部とが非接触になるように、周方向空隙部（３１）が形成されている。弾性部材は、永久磁石の両側にある２つの周方向空隙部のうち少なくとも一方に配置されるとともに径方向ブリッジ部よりも径方向内側に配置され、永久磁石を径方向に付勢することなく周方向に付勢して固定している。